AgileWorks

X-point フォーム移行ガイド

第 9 版(2026/07/15)

ATLED

目次／索引

1 はじめに 4
1.1 本書の目的 4
1.2 読者の想定 4
1.3 フォーム移行の対象バージョン 4
2 フォームの移行 5
2.1 フォームの移行方法 5
2.2 フォーム移行の前提条件 5
2.3 移行可能な設定 5
3 フォームの移行前後の作業 6
3.1 移行前に行う作業 6
3.1.1 フォーム移行時に eFormMaker で設定を解除する対処方法 6
3.1.1.1 日時フィールドのプロパティ「日付範囲（開始）」「日付範囲（終了）」 6
3.1.1.2 フォーム設定「一意キーの共通背景色」 6
3.1.1.3 R/O カレンダ 6
3.1.1.4 ナビボタン設定「JavaScript」 6
3.2 移行後に行う作業 6
3.2.1 フォーム移行時に再設定を行う対処方法 6
3.2.1.1 タブ移動順 6
3.2.1.2 バーコードフィールド 7
3.2.1.3 自動計算 7
3.2.1.4 マスタ参照ウィンドウ 7
3.2.1.5 初期取得値・ワークフロー取得値 7
3.2.1.6 自動採番 7
3.2.1.7 印影 7
3.2.1.8 フォーム間連携 7
3.2.2 フォーム移行時に修正を行う対処方法 8
3.2.2.1 JavaScript 設定 8
3.2.3 移行出来ないフィールドの対処方法 8
3.2.3.1 パスワードフィールドの置き換え 8
3.2.3.2 AgileWorks において非対応のバーコード 8
3.2.4 移行出来ない設定の対処方法 8
3.2.4.1 フォーム設定　基本情報「背景画像を用紙サイズに自動調整」 8
3.2.4.2 整数フィールドのプロパティ「前ゼロ詰め」 8
3.2.4.3 R/O マスタ 8
3.2.4.4 残管理 8
3.2.4.5 書類制御 8

◆ 改版履歴

版数	年月日	改版内容
第 1 版	2020 年 02 月 27 日	初版作成
第 2 版	2021 年 10 月 14 日	AgileWorks の対応バージョンを追加
第 3 版	2022 年 02 月 10 日	X-point の対応バージョンを追加
第 4 版	2023 年 08 月 29 日	AgileWorks の対応バージョンを追加
第 5 版	2024 年 02 月 27 日	AgileWorks の対応バージョンを追加
第 6 版	2024 年 11 月 29 日	AgileWorks の対応バージョンを追加
第 7 版	2025 年 10 月 31 日	AgileWorks の対応バージョンを追加
第 8 版	2026 年 03 月 12 日	「3.1 移行前に行う作業」の内容修正
第 9 版	2026 年 07 月 15 日	AgileWorks の対応バージョンを追加

1 はじめに

1.1 本書の目的

本書は、X-point のフォームを AgileWorks へ移行する為のガイドです。

1.2 読者の想定

本書は、以下の前提を満たす読者を想定した内容を記載しています。
・AgileWorks の製品モジュールおよび製品マニュアルの入手が行えること

1.3 フォーム移行の対象バージョン

アプリケーション	対象バージョン
X-point	v2.1.x ～ v2.7.x
AgileWorks	R2.11.0、R2.11.1、R2.12.0、R2.12.1、R2.13.0、R2.13.1、R2.13.2 R3.0.0、R3.0.1、R3.1.0、R3.1.1、R3.2.0、R3.2.1、R3.3.0

2 フォームの移行

2.1 フォームの移行方法

フォーム移行は、X-point のフォームファイルを X-WebForm で AgileWorks に登録することで移行します。

1. eFormMaker で作成した X-point のフォームを tsf ファイル保存します。
2. AgileWorks のフォームエディタである X-WebForm の[ファイル]メニューの[開く]で移行対象の tsf ファイルを指定する、または tsf ファイルをドラックアンドドロップで tsf ファイルを開きます。
3. 開いたフォームを X-WebForm で編集し、X-WebForm のファイルメニューより「新規アップロード」から AgileWorks 本体へフォームの登録を行います。

2.2 フォーム移行の前提条件

X-point のフォーム移行後、AgileWorks でのフォームの動作確認を必ず行ってください。

- 移行可能なのはフォームのみとなります。
  承認ルートやクエリ、コンポーネント等フォーム関連する情報は移行されません。
- 稼働環境の OS 種類、使用 AP サーバー、DB サーバーの種類は問いません。
- X-WebForm で取り扱いが可能な単一構成フォーム（１ページで利用）のみ移行対象になります。
  複数枚フォームの２ページ以降は、X-WebForm にてページの追加をし、新規で作成を行ってください。

移行時に対処が必要な設定と移行が行えない設定は以下となります。

対処方法と移行可不可	対象フィールド、設定
再設定で対処	タブ移動順 バーコードフィールド 自動計算 マスタ参照ウィンドウ 初期取得値・ワークフロー取得値 自動採番 印影フィールド フォーム間連携
修正で対処	JavaScript 設定
フォーム移行前に設定を解除	日時フィールドのプロパティ「日付範囲（開始）」「日付範囲（終了）」 フィールドのプロパティ「一意キー」 R/O カレンダ ナビボタン設定「JavaScript」
移行出来ないフィールド	パスワードフィールド AgileWorks において非対応のバーコード
移行できない設定	フォーム設定　基本情報「背景画像を用紙サイズに調整」 整数フィールドのプロパティ「前ゼロ埋め」 R/O マスタ 残管理 書類制御

2.3 移行可能な設定

各フィールドの移行可能なプロパティの設定値は、フォーム移行の前提条件で記載されたものを除く、属性タブと書式タブの設定値となります。

3 フォームの移行前後の作業

3.1 移行前に行う作業

3.1.1 フォーム移行時にeFormMakerで設定を解除する対処方法

3.1.1.1 日時フィールドのプロパティ「日付範囲（開始）」「日付範囲（終了）」

eFormMaker では日時フィールドのプロパティとして、「日付範囲（開始）」「日付範囲（終了）」の設定項目が存在しますが、X-WebForm では存在しないプロパティとなる為、「日付範囲（開始）」もしくは「日付範囲（終了）」の値をデフォルト値から変更している場合、AgileWorks へフォーム移行する前に eFormMaker にて設定の解除を行ってください。

解除方法は、設定値をデフォルトに戻す方法となります。
各プロパティのデフォルト値は下記となります。

設定項目	デフォルト値
日付範囲（開始）	00000000
日付範囲（終了）	99999999

3.1.1.2 フォーム設定「一意キーの共通背景色」

eFormMaker のフォーム設定に共通背景色の「一意」の設定項目が存在しますが、X-WebForm では存在しない設定となる為、AgileWorks へフォーム移行する前に eFormMaker にて一意の共通背景色の解除を行ってください。

解除方法は、eFormMaker の[ファイル]-[フォーム設定]-[フィールド設定]-[共通背景色]の一意で設定しているカラーコードを消す方法となります。

3.1.1.3 R/Oカレンダ

eFormMaker ではアクションタブのプロパティとして「R/O Calendar」の設定項目が存在しますが、X-WebForm では存在しないプロパティとなる為、AgileWorks へフォームを移行する前に eFormMaker にて設定の解除を行ってください。

解除方法は、「R/O Calendar」の設定値を true に設定もしくは「編集禁止」の設定値を false に設定する方法となります。

3.1.1.4 ナビボタン設定「JavaScript」

eFormMaker ではナビボタンに JavaScript を設定することが可能ですが､X-WebForm では存在しない設定となる為、AgileWorks へフォーム移行する前に eFormMaker にてナビボタンの JavaScript を削除してください。

解除方法は、eFormMaker の[ファイル]-[フォーム設定]-[ナビボタン設定]の各ナビボタンの JavaScript で設定している JavaScript を消す方法となります。

3.2 移行後に行う作業

3.2.1 フォーム移行時に再設定を行う対処方法

3.2.1.1 タブ移動順

X-point にて設定されていたタブ移動順は、AgileWorks へフォーム移行後、タブ移動順の再設定が必要となります。
X-WebForm へ取込後、フォームの基本設定にてタブ移動の再設定を行ってください。
タブ移動順の設定方法については、下記のマニュアルをご参照ください。

・X-WebForm フォーム設計・作成ガイド
　フィールド一覧の確認と必須設定

また、eFormMaker にてタブ移動順序に-1 を設定している場合、X-WebForm へ取り込むとタブ移動禁止が True の設定となります。

3.2.1.2 バーコードフィールド

X-point にて設定されていたバーコードフィールドの属性タブの「無効」「編集禁止」と書式タブの「PDF 背景色表示」の設定値を True としている場合、X-WebForm へ取込後に False となる為、再設定を行ってください。

3.2.1.3 自動計算

自動計算を設定しているフィールドは、移行後の動作保証が出来ない為、X-WebForm へ取込後に自動計算の設定の見直しと再設定を行ってください。
自動計算の設定方法については、下記のマニュアルをご参照ください。

・X-WebForm フォーム設計・作成ガイド
　数値計算

3.2.1.4 マスタ参照ウィンドウ

マスタ参照ウィンドウを設定しているフィールドは、X-WebForm へ取込後、マスタ参照ウィンドウの再設定を行ってください。
マスタ参照ウィンドウの設定方法については、下記のマニュアルをご参照ください。

・X-WebForm フォーム設計・設定ガイド
　マスタ参照設定

3.2.1.5 初期取得値・ワークフロー取得値

X-point において、初期取得値・ワークフロー取得値を設定しているフィールドは、X-WebForm へ取込後、初期取得値・ワークフロー取得値の再設定を行ってください。
初期取得値およびワークフロー取得値は、AgileWorks では「ルックアップ設定」という機能となります。
ルックアップ設定の設定方法については、下記のマニュアルをご参照ください。

・X-WebForm フォーム設計・設定ガイド
　ルックアップ設定

3.2.1.6 自動採番

自動採番を設定しているフィールドは、X-WebForm へ取込後、再設定を行ってください。

自動採番の採番ルールは、AgileWorks の管理サイトにて行います。
発番するフィールドの指定及び、発番タイミングは、回付ルール作成ツールである FlowEditor にて設定を行います。
自動採番の設定方法については、下記のマニュアルをご参照ください。

・回付ルール設計・設定ガイド
　フォーム設定「自動採番フィールド」

3.2.1.7 印影

印影の再設定は、フォーム上に配置されている印影フィールドに対して、承認のタイミングでどの印影フィールドに押印するのか、押印設定を行ってください。

押印設定は、AgileWorks では回付ルールの作成ツールである FlowEditor にて設定を行います。
また、印影の文言、印影のサイズについては、X-WebForm にて再設定を行ってください。
押印設定および印影の文言・サイズの変更については、下記のマニュアルをご参照ください。

・X-WebForm フォーム設計・設定ガイド
　印影フィールド作成

3.2.1.8 フォーム間連携

フォーム間連携は AgileWorks に移行後、再設定を行う必要があります。

フォーム間連携は、AgileWorks では「関連フォーム」という機能になります。
関連フォームは、AgileWorks の管理サイトのフォーム管理にてフォーム毎に設定します。
関連フォームの設定方法については、下記のマニュアルをご参照ください。

・主要機能ダイジェスト
　関連書類

3.2.2 フォーム移行時に修正を行う対処方法

3.2.2.1 JavaScript設定

フォームに設定されている JavaScript は動作保証が出来ない為、修正および検証を行ってください。
AgileWorks の JavaScript API については、下記のマニュアルをご参照ください。

・X-WebForm JavaScirpt プログラミングガイド
　X-WebForm JS API の利用
　AgileWorks JS API の利用

3.2.3 移行出来ないフィールドの対処方法

3.2.3.1 パスワードフィールドの置き換え

AgileWorks では、パスワードフィールドはサポートされておりません。
移行するフォームのパスワードフィールドの削除、もしくは別のフィールドに置き換える必要があります。
X-point のフォームファイルを X-WebForm で読み込むとフィールドとして表示されますが、X-WebForm では
サポートされていないフィールドである為、パスワードフィールドが残った状態の場合、フォームを保存することが
できません。
パスワードフィールドの削除、または文字フィールドなど別のフィールドへの置き換えを行ってください。

3.2.3.2 AgileWorksにおいて非対応のバーコード

AgileWorks では下記のバーコードにのみ対応しております。

・CODE39
・CODE39Ex
・CODE128
・PDF417

X-point のフォームにて、上記以外のバーコード種類を利用している場合、対応しているバーコードに置き換える
または削除の対応を行ってください。

3.2.4 移行出来ない設定の対処方法

3.2.4.1 フォーム設定　基本情報「背景画像を用紙サイズに自動調整」

eFormMaker の[ファイル] - [フォーム設定] – [基本情報タブ]で設定する「背景画像を用紙サイズに自動設定」の
設定項目が X-WebForm では存在しない為、設定を移行することができません。
そのため、入力フォームや PDF で画像がずれる場合があるので、背景画像をご使用の場合は、別途、サイズ調整を
行ってください。

3.2.4.2 整数フィールドのプロパティ「前ゼロ詰め」

eFormMaker では整数フィールドのプロパティとして、「前ゼロ詰め」の設定項目が存在しますが、X-WebForm
では存在しないプロパティの為、設定は破棄され利用できません。

3.2.4.3 R/Oマスタ

eFormMaker ではアクションタブのプロパティとして「R/O Window」の設定項目が存在しますが、X-WebForm
では存在しないプロパティの為、設定を移行することはできません

3.2.4.4 残管理

AgileWorks には残管理に相当する機能が無い為、移行することはできません。

3.2.4.5 書類制御

AgileWorks には書類制御に相当する機能が無い為、移行することはできません。